



四日市市立西朝明中学校

令和2年度第11号

11月5日(木)

# にしあさけ

文化祭前の西朝明中学校は、音楽室から合唱練習の歌声が響いてきたり、体育でソフトボールを楽しむ声が聞こえてきたり、文化の秋、スポーツの秋を感じさせてくれるとても素敵な雰囲気でした。そんな雰囲気を感じさせてくれる学校は、とても穏やかな気分させてくれる居心地のよい場所です。そんな西朝明中学校はとても素敵な学校です。

11月に入ると一雨ごとに鈴鹿の山から吹き降ろす風も冷たくなってきます。いよいよ3年生は進路選択に向け集中して取り組む時期がやってきました。3年生だけでなく、1・2年生も中学校卒業後の進路や将来の自分を考え、学びの秋を深めていきましょう。

文化祭では、体育祭に続いて「さらに一段と成長する姿」が見られました

今年は新型コロナウイルス感染予防のため、体育祭も文化祭も内容の精選とともに三密(密集・密接・密閉)の環境をつくらぬよう配慮して取り組みを進めてきました。学級全員での合唱練習は、例年行っている教室での練習は行わず、体育館・音楽室・視聴覚室といった広い教室での割り当て時間のみとしました。



修学旅行から戻ってきた頃の合唱は、どの学年の合唱も、十分な声が出ていなかったり、ハーモニーが今一つそろっていなかったり、「やはり今年は練習時間も足りなかったのだろうな」、「マスクを着用したまま歌うのも苦しいだろうな」と、なかなか学級の合唱の仕上がりが難しい現状を感じました。

しかし、文化祭当日は、どの学年の学年合唱も素晴らしく、どの学級も最高の合唱を披露してくれました。合唱コンクールですから優秀賞を選びましたが、文化祭を30日(金)に控えたその一週間の各学級の取り組みには、とても大きな価値があったと思っています。

きっと、どの学級もよりよい合唱をつくるため、みんなが心を一つにした取り組みを行ったはずであり、いろいろな陰に隠れた工夫や努力が行われていたはずです。でなければ、こんな短期間にどの学級も学年練習やりハーサルの時とは一段レベルが違った合唱に仕上げることはできません。すばらしい集中力を発揮し、例年どおりの練習時間が取れなかったハンディキャップを克服したその取り組みは、どの学級も優秀賞に値する取り組みであったと大変嬉しく思っています。

体育祭での「みんなで楽しむ」ための取り組み、文化祭での「みんなでよりよいものをつくる」ための取り組みで培った力を、今後の学校生活をより充実したものにする取り組みに活かし、また一段大人へと成長する姿を見せてくれること期待しています。

文化祭の参観にあたってご理解とご協力ありがとうございました

今年の文化祭の参観は、感染症対策として、当該学年の保護者のみ各家庭1名と限定させていただくとともに、PTA本部役員のみなさんに受付・検温のお手伝いをいただきました。全国的には文化祭そのものが中止となったり、無観客で発表会を行ったりする学校も多い中、生徒たちが成長した姿を見ていただく貴重な機会をつくることができました。これも保護者・地域のみなさまのご理解とご協力の賜物と大変感謝しております。

頑張る姿を見ていただくことは、生徒たちの成長につながるよい刺激となるものと考えております。今後も感染症対策に配慮しながら、生徒たちの人間的成長と社会的自立につながる教育活動を展開していきたいと思っておりますので、保護者・地域のみなさまにおかれましては引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 入賞おめでとう

10月16日(金)、17日(金)、予備日18日(日)に中体連三泗地区新人大会が行われました。勝ち負けにかかわらず、どの部活動の選手も、普段の教室で見せる表情から、「アスリートの顔」に変わっていました。緊張感の中で戦う経験は、子どもを大人へと成長させる大切な時間となると考えています。集中した選手の表情は、誰もがとても格好いいです。

入賞したみなさんは次のとおりです。おめでとうございます。

|      |              |                |
|------|--------------|----------------|
| <団体> | バレーボール女子 優勝  | ソフトテニス女子 優勝    |
| <個人> | 剣道男子 優勝      | 樋口 陽星 準優勝 佐藤 陽 |
|      | バドミントン男子 準優勝 | 中野 駿晟          |
|      | 体操女子 個人総合    | 第3位 松田 明咲      |
|      | 跳馬・平均台・ゆか    | 第3位 松田 明咲      |

## 10月は学年行事も行いました

一学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止と臨時休校で失った授業時数の確保を優先してきたため、地域と協働した特色ある行事として定着してきた「防災@にしあさけ」の中止をはじめ、学校・学年の行事を中止または延期としてきました。

二学期は、9月の体育祭を皮切りに、10月は、19日(月)～21日(水)に3年生修学旅行、20日(火)には、2年生ザ・プロフェッショナル(職業講話)、1年生防災マップづくりの各学年行事を行いました。

※2年生ザ・プロフェッショナル(職業講話)、1年生防災マップづくりの取り組みは、次号で紹介します。

修学旅行の実施にあたっては、5月東京方面から9月東京方面へ、そして、10月広島方面と3度に渡り日程・行先の変更を行いました。また、不特定多数の一般の方々との接触を避けるため訪問先及びルートの見直しを行うとともに、全行程をバスでの移動としました。

バスでの長距離移動(往路は三重-滋賀-京都-大阪-兵庫-岡山-広島、復路は広島-岡山-香川-徳島-兵庫-大阪-京都-滋賀-三重)は、この旅行の大きな心配ごとの一つでしたが、3年生の「どこでも仲間と楽しめる力」に助けられ、バス移動でさえ、修学旅行の思い出の一つに変えてくれました。

長旅の疲れからか現地で少し体調を崩した生徒もありましたが、大事に至らず参加者全員が無事、全行程を終えることができたこと大変嬉しく思っています。これも各ご家庭で旅行の前から体調管理にご指導とご支援をくださったおかげと大変感謝いたしております。また、見学先・体験先の施設、ホテルでは、どこも感染症対策が徹底されていました。3年生全員参加での実施とならなかったことは残念ではありますが、今回の修学旅行の実施にあたっては、企画・随行いただいた日本旅行のみなさん、バスの運転手のみなさん、見学・体験先やホテルの関係者のみなさん、そして、保護者のみなさん、この旅行に関係するすべてみなさんのご理解とご支援があつたのことに、大変感謝いたしております。

文化祭で展示いたしました修学旅行新聞には、広島でしか体験できない「原爆ドーム見学」や「被爆者の方から実際に聴く講話」、普段あまり体験することのない「ホテルでのコース料理」、「手打ちうどん体験」や「美術館見学」など楽しんでいた様子が書かれていました。実行委員会が掲げたスローガン「3EST BEST WEST HAPPIEST!」を実現することができた修学旅行であったと思います。3年生のみなさん、「思い出に残る修学旅行をつくってくれてありがとう。」



†全国的に新型コロナウイルスの感染は微増傾向にあり、県内でも中学生の感染者が発表されています。中学生への感染経路は、同居家族からの経路が多いと考えられることから、同居家族が「濃厚接触者になった」「検査を受検する」場合には、必ず学校まで連絡をお願いします。